茜色クラリネット 通信 vol.8

http://www.k-yumecinema.com/

ご支援をお願いします

日頃よりシアターキノをご支援いただいている皆さまへお願いをさせていただきます。映画制作ワークショップを体験した中高生達が、札幌琴似の皆さんとプロの大人達のバックアップで、1年がかりで制作した長編映画「茜色クラリネット」を、3月～4月にシアターキノで公開いたしましたが、是枝監督はじめプロの映画人たちから高く評価され、いよいよ11月1日（土）～14日（金）に東京渋谷のユーロスペースで公開になります。そして、全国上映から海外映画祭にも2か所応募中で、世界に向けてもチャレンジしてまいります。すでに8月21日（木）からのソウル国際青少年映画祭には招待上映され、坂本監督と録音スタッフの鈴木さんがソウルへ招かれ、世界から集った未来の映画人たちと交流を深めてまいりました。

さて、東京での劇場公開にも、宣伝材料費や印刷費、試写会費、会場費、VPF費、宣伝協力費など約150万円必要で、キャストスタッフの東京行き費用（7名予定）、応援していただいている監督の指導ワークショップ経費、キャンペーン費、海外映画祭出品の場合の渡航費などがさらに約70万円必要です。前述の150万円は、入場料収入や企業協賛で何とか集まりそうな状況ですが、残り70万円は難しく、全国からのご支援を求めて、クラウドファンディングをさせていただくことになりました。

是非こちら（https://www.makuake.com/project/toniko/）をご覧いただき、「茜色クラリネット」の坂本監督はじめ、中高生スタッフキャストたちの心のこもったメッセージを受け止めていただければ嬉しいです。そしてもしご協力いただけます時は、そのMakuakeのサイトにお申し込みいただければと存じます。中高生たちが未来に向かって羽ばたいていくのを、是非ご支援いただけますことをお願い申しあげます。

「茜色クラリネット」プロデューサー　シアターキノ代表　中島 洋

私たちの目標は、将来映画の仕事に就くことです。
映画監督、脚本家、カメラマン、女優……
めざす夢はさまざまですが、
今回のプロジェクトの成功が、
私たちの夢へと続く第一歩だと信じています。

「茜色クラリネット」坂本優乃監督

詳しくは、Makuakeのサイトをご覧下さい

https://www.makuake.com/project/toniko/

アカデミー賞最優秀外国語映画賞受賞

グレート・ビューティー　追憶のローマ

彼は65歳になった。自分の人生もすでに折り返し点を過ぎ、残り少なくなっていることを感じ、自分がやりたくないことに費やす時間はないという境地に達していた。欲しい物はすべて手に入れたようで、しかし一番大切な何かがまだ見つけられずにいたのだった。そんなある日、思いもよらぬ知らせが届く。それは、彼が心の中で想い続けていた初恋の女性の訃報だった…。

冒頭、セリーヌの「夜の果てへの旅」の1行目の引用からはじまるこの物語は、偉大なる美が集う永遠の都ローマが主人公でもあるような、あまりにも美しい悠久の時間を感じさせてくれる。

監督・パオロ・ソレンティーノに世界中が注目です。

フランス映画祭2014　観客賞（最高賞）受賞

バツイチは恋のはじまり

あまりにもベタベタなタイトルで、敬遠してしまう方もいらっしゃるかも知れませんが、アナドルナカレ！最高に面白い！「最強のふたり」「タイピスト！」に続く今年のフランス映画祭観客賞受賞作。最高のパートナーに出会いたい、幸せになりたいと願うイザベルですが「最初の結婚は失敗する」という一族のジンクスがあり、バツイチになるために理想じゃない相手・ジャンとの世界半周旅行を決行！ケニアの砂漠ではライオンに追われたり、マサイ族の結婚式にたちあったり、日常ではない出来事の数々に、イザベルは100％素の自分をさらけ出し、無理難題をジャンにぶつけます。でもどんなことでも笑って受け入れてくれる彼だったとしたら…？！

9月13日より受賞記念上映！

モントリオール世界映画祭最優秀監督賞（兵美保監督）受賞

そこのみにて光輝く

いまから25年前、何度も芥川賞候補に挙げられながらも賞に恵まれず、今の日本を予期したような作品群を遺し、41歳で自ら命を絶った不遇の作家・佐藤泰志。短い函館の夏を舞台に、生きる目的を失った男と愛を諦めた女との出会い、そして底辺で生きる家族を、慈しむような眼差しで描いた、作家唯一の長編小説であり最高傑作といわれる「そこのみにて光輝く」が映画化され、キノでもGW に上映いたしました。そしてこのたびの受賞！！

受賞記念上映が9月13日から急きょ決定いたしました！！

達夫と千夏、2人の魂が触れ合い、失いかけていた世界が色づき始める。たとえどんなことがあってもふたりで生きる…北の町で愛を求めてひたむきに生きる人々の感動の物語。

MOVIE LINEUP 94

2014.9–11

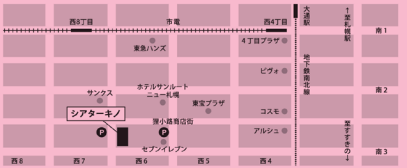
今号のごあいさつ

嬉しいほやほやのニュースが入ってきました！「そこのみにて光輝く」がモントリオール世界映画祭で最優秀監督賞受賞！！私たちもドキドキしながら発表を待っていました。「賞の名前は"監督賞"という名前ですが、ひとりでとれるものではなくて、みんなの力があってのものだと思います。みんなでここまでこれて、本当に良かったなと思います。この映画の原作を書かれた作家・佐藤泰志さんは芥川賞候補に5回もなりながら賞に恵まれず、不遇の死を遂げました。25年前に書かれた小説が映画になりこのような賞をいただき、佐藤さんが報われたような気がして、今本当に胸がいっぱい。佐藤さんにおめでとうございますといいたいです。」兵美保監督（37歳）のモントリオールでの受賞スピーチです。キャスト、スタッフ、函館のメンバーたちが監督と共に一丸となって佐藤さんの想いのすべてをこの作品にこめてあの夏を駆け抜けた…。佐藤泰志原作、函館の冬を描いて高い評価を得た「海炭市叙景」の熊切和嘉監督の最新作「私の男」はモスクワ国際映画祭グランプリを受賞、そしてこのたびの「そこのみにて光輝く」モントリオールでの受賞、今年は立て続けに嬉しいニュースが届き、感慨深いものがあります。ぜひ多くの皆さまに、深く心にしみわたるような感動と出会っていただければと思います。

キノの秋は、ほっと心温まる「ジゴロ・イン・ニューヨーク」、華麗なる永遠の都ローマ「グレートビューティ」、失われた青春の輝きと哀切「So Young～過ぎ去りし青春に捧ぐ」、芸術の秋にふさわしい名作、ジョン・フォードやトリュフォーの特集、そして爽快ロマンティックコメディ！「バツイチは恋のはじまり」などなど、どうぞおたのしみください。

支配人　中島ひろみ

速報！　「そこのみにて光輝く」アカデミー賞外国語映画賞日本代表に！！



THEATER KINO
札幌市中央区狸小路6丁目南3条グランドビル2F
TEL 011 231 9355
www.theaterkino.net / webmaster@theaterkino.net